

# 真庭市長・真庭市議会議員

# 選挙結果

真庭市長・真庭市議会議員の任期満了に伴う選挙が行われました。4月9日に告示され、無投票で真庭市長に太田昇氏が再選を果たしました。4月16日には真庭市議会議員選挙の投票が行われ、24人の議員が選出されました。当選者を紹介します。

## 真庭市発展に向け、決意新たに

4月16日、真庭市議会議員選挙が行われました。議員定数24人に対して26人が立候補。告示日の4月9日以降、市内で熱い選挙戦が展開されました。開票は勝山スポーツセンターで行われ、24人の市議会議員が決まりました。4月17日には、真庭市長、真庭市議会議員選挙の当選証書付与式が市役所本庁舎で開催され、当選者に原健裕選挙管理委員会委員長から証書が手渡されました。任期は、平成29年4月24日から平成33年4月23日までの4年間です。真庭市の発展と市民生活の向上に向けて、重要施策などの審議に取り組みます。

①年齢②党派③新現元別④住所  
(50音順、敬称略)



おおつき もとこ  
**大月 説子**  
①59 ②無所属  
③新 ④鹿田



いりざわ ひろよし  
**入澤 廣成**  
①63 ②無所属  
③現 ④蒜山上長田



おかざき ようすけ  
**岡崎 陽輔**  
①58 ②日本共産党  
③現 ④中島



いわもと そうはち  
**岩本 壯八**  
①62 ②公明党  
③現 ④山久世



おがた ひさし  
**緒形 尚**  
①54 ②無所属  
③現 ④湯原温泉



うじひら とくまさ  
**氏平 篤正**  
①64 ②無所属  
③現 ④久世



写真左：当選証書付与式で、当選証書を受け取る太田市長(4/17)



写真右：勝山文化センターで行われた開票作業(4/16)



真庭市長  
おのぼる  
**太田 昇**  
①65②無所属③現④久世

# 真庭市議会議員 市民の代表24人の顔ぶれ



ふくい そうすけ  
**福井 荘助**  
①67 ②無所属  
③現 ④落合垂水



なかもと ただし  
**中元 唯資**  
①65 ②無所属  
③現 ④関



つぎざわ としお  
**築澤 敏夫**  
①68 ②無所属  
③現 ④中



せの お ともゆき  
**妹尾 智之**  
①56 ②公明党  
③現 ④久世



こみなみもとじ  
**古南源二**  
①64 ②無所属  
③現 ④勝山



おだ やすふみ  
**小田 康文**  
①51 ②無所属  
③現 ④下皆部



ふくしま かずのり  
**福島 一則**  
①67 ②無所属  
③現 ④平松



はつもと まさひろ  
**初本 勝**  
①74 ②無所属  
③現 ④勝山



ながお おさむ  
**長尾 修**  
①67 ②無所属  
③現 ④森山上徳山



たけはら しげみ  
**竹原 茂三**  
①67 ②無所属  
③現 ④栗原



しばたまさし  
**柴田正志**  
①57 ②無所属  
③新 ④若代



かきもと けんじ  
**柿本 健治**  
①68 ②民進党  
③現 ④本庄



やまもと ひさえ  
**山本 久恵**  
①62 ②無所属  
③新 ④月田



はら ひでき  
**原 秀樹**  
①64 ②無所属  
③現 ④上水田



なかお てつお  
**中尾 哲雄**  
①69 ②無所属  
③現 ④目木



たにもと あきよし  
**谷本 彰良**  
①49 ②無所属  
③新 ④久世



しょうじしろう  
**庄司史郎**  
①61 ②無所属  
③新 ④中



かわべ たつお  
**河部 辰夫**  
①77 ②無所属  
③現 ④宮地

## 真庭市議会議員選挙の結果

(平成29年4月16日執行)

■有権者数	39,651人
■投票者総数	25,791人
■投票率	65.05%
■候補者別得票数	
柴田正志	1,873票
大月説子	1,794票
岩本壯八	1,471票
妹尾智之	1,371票
庄司史郎	1,306.820票
柿本健治	1,305票
長尾 修	1,248票
岡崎陽輔	1,232票

竹原茂三	1,065票
緒形 尚	1,006票
小田康文	990票
入澤廣成	989票
福島一則	940票
中元唯資	916票
福井荘助	890票
河部辰夫	885票
原 秀樹	797票
古南源二	792票
初本 勝	768票
氏平篤正	738票

中尾哲雄	673票
築澤敏夫	651票
山本久恵	636票
谷本彰良	493票
加藤大悟	487票
庄司一孝	197.179票
■有効投票数	25,514票
■無効投票数	277票
■投票総数	25,791票
■持ち帰り・その他	0票

※得票数の小数点以下は、按分票によるものです。



# 市長就任のごあいさつ

～希望と元氣な真庭づくりの進化を目指して～

市長就任に当たり、市民の皆様にごあいさつを申し上げます。  
このたび、今後4年の市政を担うことになり、その責任の重さを改めて痛感している次第であります。

さて、ご存じのとおり、日本は既に人口減少、少子高齢化社会に入っております。人口や経済は右肩上がりが続くものというこれまでの発想を捨てて、この現実をしっかりと直視した対応をしていかなければ、明日の真庭を切り開くことはできません。

真庭市は、全国に先駆けて木質バイオマスなどの地域資源を生かした循環型の地域経済づくりと地産地消を目指してきましたが、農業・林業の再生を図り、この方向を加速させてまいります。また、平成27年の合計特殊出生率が全国トップレベルの「2・21」に達した成果を基に、子どもを産み育てやすい環境づくりと地域福祉の充実を共に進めていきたいと思います。加えて、だれもが主体的に自らの持つ力を発揮して地域社会に貢献するとともに、次代を担う「ひと」が育つ共育（協育・郷育・響育）を進め、豊かな文化創造に努めていこうではありませんか。

このようにして市民協働で市政を展開していくなれば、ふるさとに住んでよかったと誇れる「多彩で豊かな真庭」が実現し、継承できるとは違いません。

そのため、真庭市では、経営する「市役所」の機能を十二分に発揮させるとともに、市全体をいかに良くするかを主権者である市民の皆様と市議会と共に考え、今まで以上に市民目線と未来志向で改革・改善を進めてまいります。

結びに、「希望と元氣な真庭づくり」に全身全霊を傾ける決意を改めて申し上げ、就任のあいさつといたします。

真庭市長 **太田昇**



## 【太田昇市長の略歴】

昭和26年8月25日生まれ（65歳）  
遷喬小学校、久世中学校を経て、津山高校に進学。昭和50年（1975年）、京都府庁入庁。財政課長、総務部長などを歴任。平成22年、京都府副知事に就任。平成25年4月7日告示の真庭市長選挙で、無投票初当選を果たす。京都大学法学部卒。久世在住。



# これから目指すもの **—進化—**



## ▶ 高速道路の十字路を生かし、 バイオマス産業都市を基に 力強い循環型の地域経済づくり

- ・ 企業と投資を呼び込むとともに、市内企業の連携発展を通じて、地域経済の活性化と雇用の拡大
- ・ 観光事業の推進とともに都市との人・物の交流を促進し、真庭を全国に発信
- ・ JAなどと連携した農業畜産振興、6次産業化、給食などの地産地消
- ・ 大規模化で生産性の高い林業、木材産業の実現
- ・ 地域資源の発掘と活用、さらに輸出

## ▶ 安全・安心で豊かな地域づくり

- ・ バイオマス発電など、地域エネルギーの地産地消を通じて安定した暮らしを実現
- ・ 医療・福祉の充実や上下水道整備など、生活環境を整備
- ・ 自然豊かな環境を生かし、交流・定住の推進とトーンの促進
- ・ 若者や女性、熟年者が活躍・貢献できる社会と地域づくり



## ▶ 夢ある子育てと豊かな文化で人づくり

- ・ 地域との協働により、真庭を愛する共育（協育、郷育、響育）を行い、知徳体の充実を実現
- ・ 子どもを産み育てやすい施策と地域環境の整備・充実
- ・ 図書館などを充実させるとともに、市民の力による文化・スポーツ活動の活性化を通じて、新しい「旭川」流域文化を創造
- ・ 10億円の「未来を担う人応援基金」を有効に活用して、次代を支える人材の育成と招致



## ▶ 地方自治の志を持った職員と いきいき市役所づくり

- ・ 市民目線の自発的な姿勢と改革・改善
- ・ 市役所を組織として機能させ、施策をスピード感をもって展開

